

北秋田市民病院の管理に関する基本協定調

市民病院、4月開院に大きく前進

秋田県厚生農業協同組合連合会

佐藤博

北秋田市民病院基本協定調印式

北秋田市が、下杉地内に建設した北秋田市民病院の運営に係る基本協定について10月1日、市役所大会議室において、津谷市長と佐藤博身秋田県厚生農業協同組合連合会理事長が、指定管理の基本協定書に調印しました。これからは、4月開院に向けて具体的な準備が進められます。

秋田県内では初めての 公設民営方式の病院運営

市民病院は、建物などを市が整備し、指定管理者が運営する指定管理者制度を導入した県内初の公設民営方式の病院で、昨年の9月定例議会で指定管理者に北秋中央病院を運営する秋田県厚生農業協同組合連合会（厚生連）を指定しています。

基本協定締結は 市民病院運営の第一歩

津谷市長は、市長に就任以来、市民病院の課題に真摯に取り組み、指定管理の方針転換を含め最大限の努力をしてきた。本日、厚生連と基本協定締結に至ったことは非常に感慨深いものがある。しかし、基本協定締結は市民病院運営の第一歩であり、開院以降も多くの問題が山積している状況

況に変わりにない。市民の生命と健康を守ることが市の責務であり、まずは市民病院を開院し、その後、医療サービス向上、あるいは市民病院の健全経営と着実に遂行していきたいなどといさつしました。

来年4月の開院に向け 万全を期したい

佐藤厚生連理事長は、昨年10月に準備協定を締結してから紆余曲折するなかで市は市民のことを考え、厚生連も構成員である農業協同組合を大事にしなが、交渉を進めてきた。本日の基本協定締結を契機として準備作業をよりいっそう加速させ、来年4月開院に向け万全を期したい。先行きは決して楽観できるものではないが、今後も北秋田市との緊密な連携により一つひとつ課題をクリアしていきたいと述べました。



北秋田市

市長 津谷

調印のあと佐藤博身厚生連理事長と
固く握手を交わす津谷永光市長

完成した市民病院の内部を 市民の皆さんに公開します

8月に竣工した市民病院の内部をご覧いただけます。開放的なロビーや広々とした病室。また、開院後は自由に出入りできない手術室やスタッフルームなども公開します。この機会にぜひご覧ください。



▲緩やかな曲線廊下の入院病棟

▲わかりやすい総合案内や受付

日時 11月20日(金)～22日(日)
午前9時30分～午後3時(最終受付)
場所 北秋田市民病院(下杉字上清水沢)
公開方法 病院内を順路に従ってご覧いただきます
(所要約1時間30分)
交通手段
自家用車のご利用の方
病院の駐車場をご利用ください。
内陸線ご利用の方
下表の列車に接続して、大野台駅から市民病院まで往復シャトルバス《無料》を運行します。
その他 申込みは不要です。
スリッパ等の内履きをご持参ください。
問合せ 健康福祉部医療推進課 ☎62-6626

《内陸線大野台駅～市民病院》

阿仁合・鷹巣発	大野台駅着	バス出発時間
(阿仁合発)		(大野台駅前)
8:57	9:54	10:00
10:25	11:06	11:10
13:34	14:19	14:25
(鷹巣発)		(大野台駅前)
9:32	9:42	9:50
10:41	10:52	11:00
11:50	12:01	12:10

《市民病院～内陸線大野台駅》

バス出発時間	大野台駅発	阿仁合・鷹巣着
(市民病院前)		(阿仁合着)
10:35	10:52	11:38
11:45	12:01	12:49
14:20	14:44	15:33
15:50	16:11	16:55
(市民病院前)		(鷹巣着)
10:45	11:06	11:16
14:00	14:19	14:29
15:15	15:45	15:55
16:00	16:23	16:34

